

令和3年度 総合教育会議資料

小中学校適正配置事業	・・・	P1
地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業	・・・	P2
日工大サイエンスプロジェクト	・・・	P3
まちなかどこでもミュージアム事業	・・・	P4
西原自然の森活用事業（移築民家活用編）	・・・	P5

宮代町教育委員会

小中学校適正配置事業

目標

将来予測される児童生徒数の変化に応じた学校施設の規模と適正配置について検討し、学校施設の更新（建替え）に対応した学校づくりを通して、教育環境の向上と学校を核とした地域づくりを進めます。

実施内容

令和4年度

- 今後の小中学校の適正配置等の方向性について広く住民へ周知
- 須賀小学校の再整備に向けた基本構想の検討 ※詳細については、別紙資料を参照

令和5年度以降

- 須賀小学校の再整備に向けた取組の実施 ※詳細については、別紙資料を参照

児童生徒にとってのより良い教育環境の整備と、
教育の質のさらなる向上を目指した学校の適正規模
及び適正配置を推進していきます。

地域のみんなでこどもたちの居場所づくり事業

目標

様々な事情で学校に通うことができない宮代町の児童生徒の居場所・学びの場の一つとしての役割を果たせるよう、「教育的な視点・配慮」に重点をおきつつ、児童生徒の実態やニーズに合わせて可能な限り柔軟に運営してまいります。また、学校や関係機関との連携体制の構築や情報発信など、継続的な取組が必要な部分についてもよりよい方法等を取り入れていきます。

実施内容

令和4年度

- 居心地のよい空間・学びやすい環境づくり、体験的な活動の実施
- 学校等との情報共有、保護者との情報交換、他課事業との交流
- 備品・消耗品・水光熱・通信等に係る費用の確保

令和4年度以降

- 包括的な支援体制の構築及び拡充の検討
- 教育支援センター（適応指導教室）の開設及び運用

「心の居場所」を提供し、学校への復帰や進学を見据えた学力、社会的自立を見据えた基礎的な学力を身に付けられるように支援をしていきます。

日工大サイエンスプロジェクト

目標

理科の授業において、大学の施設や設備を使った専門家による科学体験を実施します。その中で、子供たちの理科に対する興味・関心を高め、理科好きの子供を育成し、自ら学ぶ児童生徒を育成します。

実施内容

令和4年度

- 日本工業大学の施設と専門的な人材を活用した理科授業を実施
(町内の中学校1校から1つの学年を選択して実施)
- 小学校の先生を対象とした研修会を実施
(日本工業大学の施設と人材を活用)
- 小学校の理科担当者との打ち合わせ、小学校の連携についての準備

令和4年度以降

- 日工大サイエンスプロジェクトの実施

**理科に対する興味・関心を高め、
理科好きの子供を育て、
自ら学ぶ児童生徒を育成する**

まちなかどこでもミュージアム事業

◆事業の目的

既存施設や飲食店など、気軽に美術作品の展示や小さな演奏会ができるスペースを募集し、まちなかにおける作品展や音楽会の開催を促します。このことで地域の人材を発掘し、地域に人々の集まる新しい場所を生み出すことを目指します。

◆事業の概要

令和4年度

①ライセンス制度「(仮) MACHIDOKO MUSEUM LICENSE」の構築

- ・パブリックスペース（特に歩道上空地を想定）で表現活動を行うためのライセンス制度。
活動場所や時間などのルールを順守することを条件にライセンスを得た者は、指定エリア内にて音楽や芝居などの表現活動を楽しむことができる。

②活動支援キットの貸出

- ・パブリックスペース等で文化・芸術活動を行う場合に、イスやテーブルなど、活動支援につながる物品を貸し出し、活動や場づくりの支援を行う。

③著名アーティストによる作品展

- ・町外交官であり彫刻家である片桐仁氏の作品展を開催（時期や会場などは未定）

令和5年度以降

まちなかでの作品展や演奏会等を参加者により開催し、気軽にアートを楽しみ交流できる場の創出支援を行います。

西原自然の森活用事業（移築民家活用編）

◆事業の目的

福祉拠点として再整備される旧ふれ愛センターとともに西原自然の森の魅力を高めるため、「旧加藤家」「旧齋藤家」「旧進修館」を古い建物の特性を生かした美術作品の展示や音楽活動などの文化活動や体験講座、地域活動ができる場所とします。

◆実施内容

令和4年度

- ① 文化財保護に留意しつつ、一定ルールの下で町民が利用できる仕組みを作り、令和5年度からの本格運用に向けて準備を進めます。

令和5年度

- ② 活動支援
活用の仕組みを広報やホームページで公表し、町民による活動が行われるようにします。

令和6年度以降

- ③ 活用支援 新たな仕組みに基づく新規事業 年3回



▲旧加藤家住宅



▲郷土資料館事業「かやぶき民家で聞く昔ばなし」